

| | |
|-------------------------------------|--|
| 10月21日(木) | 10:00-12:00 カフェさくさぽ「10年後の佐久を考える～学び～」 場所:野沢会館ホール |
| 11月3日(水・祝) | 13:30-16:00 第2回市民活動・NPOとは? 地域の先輩に聞く継続のコツ! 場所:野沢会館ホール |
| 11月21日(日) | 13:30-15:30 イベント企画講座～ワカモノの巻き込み方～(仮) 場所:野沢会館ホール |
| 12月11日(日) | 10:00-12:30 資金調達講座・入門編 場所:野沢会館ホール |
| 10月14日(木) 11月18日(木) 12月16日(木) | いずれも 13:30-15:00 毎月第3木曜開催! おしゃべり会 場所:市民活動サポートセンター |

※タイトルや内容、開催時期は変更となる場合があります。開催日時等の詳細は決定次第、さくさぽフェイスブックページ・ホームページ・さくさぽ窓口で順次、発信・告知します。参加の際は、電話もしくはメールでの事前申し込みをお願いします。

今後の予定



さくさぽ



<グランプリ>「げんき会」

その他入賞作品のご紹介

さくさぽアルバム～最近の市民活動風景から～



「初～出張おしゃべり会 in 望月」
「楽しそう!十もちづき愛」で、地域の先輩も移住者も巻き込みたいと参加者



「佐久市主催「佐久平地域まるごとキャンパス」
高校生・大学生が11のプログラムから選んだ地域活動を体験



「災害に強いまちづくりプロジェクト」
区や消防団協力のもと、被災地域6カ所での災害への備えを考えます



「SDGs講座 @シニア大学佐久学部」
未来を考えて、シニアの力で今できることを!

季節の話題

「富士山」

M・作



秋は佐久からも富士山が綺麗な場所があります。標高はミナナロ(3,776m)と覚えましたが、一万年余り前は八ヶ岳の標高が富士山を越えていた話を最近聞きました。また、富士山は活火山、竹取物語では山頂でかぐや姫が残した不死の霊薬を焼いた煙が絶えないと語っています。そんな神秘的な富士山に50年以上も前、高校の仲間と登山しました。夜遅く出発、山小屋で仮眠と夜明前の朝食。気圧が平地の3分の2でご飯が旨いはずはないのに、最高の朝食でした。御来光を目指して再出発。でも御来光の事は覚えていません。その後須走ルートを下り、砂の斜面を一直線に下る「砂走り」を楽しみました。但し、顔から足まで真っ黒。下り終わると休憩所で桶に水があり、ありがたかったのですが、なんと桶の水は50円です。その頃は水の運搬が大変な場所とはいえ、ラーメンが50円の時代です。仕方なく50円を払って顔や体を洗いました。ふと振り返ると、水を売ってくれたおじさんが水でロバを洗っていました。我々は顔を見合わせて、何か割り切れない気持ちになって帰宅しました。そして、その年の体育祭の仮装の題をイソップの「王様の耳はロバの耳」と主張し、通りました。



<次世代賞>「山の中ガーデン小径」
中高生による投票で選ばれました。休耕田活用事業としてハーブの自然栽培、子どもたちと一緒に自然と遊ぼうプロジェクトなどを行っています。



<共感賞>「Sakk Porano(サック・ポラーノ)」
さくさぽの Facebook と Instagram で「いいね!」の反応とシェア数が一番多かった写真。田んぼやりんご畑など、佐久の美しい大自然の中で音楽会を行っています♪写真撮影: SHIROKURO

人のつながり・市民活動を絶やさないために ～第2回「市民活動×笑顔」フォトコンテストと写真展を開催～

コロナ禍が続く中、感染対策を工夫しながら活動を続けてこられた方々においては、その笑顔が続きますように。熟慮の上で活動を休止されている方々においては、またみなさんの活動に笑顔が戻りますように。そんな願いを込めた企画。今回は18団体にご応募いただき、7月にさくさぽに来館した皆さん1人1票で投票していただきました。グランプリに選ばれたのは「げんき会」! 発達障がいへの正しい知識を広めるため、発達障がいの子を育てている親の体験談や専門医の講演会・サポーター養成講座などを行っています。写真展は8月4～21日の間、野沢会館1階市民ギャラリーにて開催しました。

機関紙についての感想・ご意見はこちらへお寄せください↓ ※記載の情報は2021年9月時点の情報です

<編集・発行>
佐久市民活動サポートセンター
〒385-0043 長野県佐久市取出町183 野沢会館2階
開館時間:9時～20時・月曜休館(祝日の場合は翌火曜休館)

TEL: 0267-64-6362 FAX: 0267-64-6363
Eメール: sakusapo@sakunet.ne.jp
ホームページ: http://www.sakusapo.com/
Facebook: https://www.facebook.com/sakusapof/



イベントレポート

6/5 情報発信講座

午前の初歩編はカメラマンの杉山亜衣さんを講師に「やってみよう!チラシづくりと素敵な写真を撮る方法」、午後の発展編は元地域おこし協力隊員の尾関充紗さんを講師に「SNSを楽しもう!~Instagramへの投稿に挑戦~」の2部構成で開催。「記憶」に残る写真を撮るか、「記録」に残す写真を撮るか? インターネットを使った情報発信のコツなど、参考になる話が盛沢山の内容でした。



実践ワークの時間。参加者みんなで写真撮影と、Instagramの初投稿に挑戦!

6/12 第1回 市民活動・NPOとは? 地域の先輩に聞く継続のコツ!

生物多様性研究所あーすわーむ理事の福江裕子さんをゲストに、設立経緯や継続の工夫を聞きました。後半は長野市市民協働サポートセンターまんなかのセンター長阿部今日子さんによる講座。課題解決に向けてのワークにも挑戦!



参加者同士、悩み相談や対話で交流が広がりました

7/17 カフェさくさぽ 「身土不二から佐久の食を考える」

講師の加藤信夫さん(食とヘルスケアコーディネーター)は、市場経済と農業の共存は大変な部分もあるが、日本一の食材を生む佐久の自然と生産者に感謝し、地産食を楽しく学び伝えることが応援になると話されました。



食や農に関心のある方、携わる方など30名が参加し、活発な情報交換の場になりました

センター長 山室のつぶやき

地域づくりとジェンダー



2021年3月、各国における男女格差を測る「ジェンダーギャップ指数2021」が発表された。この指数は、経済、政治、教育、健康の4つの分野のデータから作成され、0が完全不平等、1が完全平等を示す。日本の総合スコアは0.656、順位は156か国中120位で、先進国の中で最低レベル、アジア諸国の中でも低い結果となった。各国がジェンダー平等に向けた努力を加速させる中で日本は遅れをとっている。

性別によって制約されることなく、だれもが自分らしく生きる社会をつくることは、暮らしの足元の地域づくりの分野でも強く求められている。これに関連して、県は男女共同参画計画のなかで、自治会長・公民館長に占める女性の割合は、極めて低い割合で推移しており、固定的性別役割分担意識の解消に向けた取組の効果が表れていないと指摘する。令和2年度、自治会長は1.5%、公民館長は7.7%。佐久市はどうだろう。令和3年度、区長240人のうち女性4人(本町、大塚、臼田勝間、中荒)が区長に就任した。報道によれば、深刻化するなり手不足、住民構成が集合住宅に集中など背景は様々というが、前年度の1人から比べると大きな前進だ。災害時の避難所運営、地域ぐるみの子育て、すべての年代の健康増進などの課題解決に女性の視点や意見を反映させることは必須とも言える。自分たちの区を今後どのようにしていきたいのか、重要な意思決定にかかわり、責任を持って実行していく役員等に女性が加わる意味は極めて大きいと思う。

市民活動クローズアップ

新型コロナウイルスに負けない!佐久地域発の元気な市民活動をご紹介します。
みなさんの周りではどんな活動がありますか?ぜひ、さくさぽまで情報をお知らせください!

『岩村田高校+環境政策課』 ~学生と市の協働で特定外来種駆除~

佐久市環境政策課より「高校と協力してオオキンケイギク(特定外来種)駆除ができないか?」とさくさぽに相談があり、岩村田高校へ打診したところ、生徒会を中心に実行委員会を結成。呼び掛けから学生主体で行われ、高校2・3年生と職員の約50名が活動に参加。炎天下の中、種がこぼれないよう丁寧にハサミで切ったり、根を抜いたり、約2時間で大量の駆除に成功! 実行委員長の池内彩斗さんは「地域の方と一緒に活動でき貴重な機会でした。また開催したい!」と継続に意欲的でした。
【連絡先】佐久市環境政策課 (0267-62-2917)



『大人とこどもの青空カフェ』 ~親子がほっとできる居場所を~

毎月第3木曜の午前10時から佐久市内公園等で開催されている青空カフェ。保育士や助産師も参加し、気軽に訪れる野外型の親子の居場所です。今年度は佐久市まちづくり活動支援金を受け活動。6月は野沢の中嶋公園を会場に、妊婦さんも含む12組の親子が参加。手作りクッキーや朝採り野菜などの持ち寄りや、洋服や靴のおさがりブースも。心地よい日差しと爽やかな風の中、親子の笑い声が響きました。
【代表】及川佳代さん (080-5988-8212)



市民活動団体とは?

市民の自主参加で活動に取り組む団体のことです。NPO法人、区等の自治会、PTA等の組織、趣味の会やサークルも含まれます。佐久市の市民活動団体として登録すると、行政など幅広い層に活動を知ってもらえます。登録ご希望の方はさくさぽまで! (現在の登録団体数: 214団体)

さくさぽの本棚から



『みんなの「わがまま」入門~』 著者: 富永京子 発行: 左右社 2019年

高校生にもわかりやすく「社会運動」を感じる一冊です。わがまま=自己中? から始まり、意見を言うことの大切さ、社会的「わがまま」のススメを実践的に紹介。読み進めるうちに、意見を言うことへの「抵抗感」をときほぐし、社会運動=みんなの要望=みんなのわがまままで、色々なモヤモヤを考えてみませんか。「わがまま」というツールを使い、社会や政治といった「遠い」ことがらを身近な視点から見つめよう。